

教科書: CROWN English Expression I New Edition

副教材: Best Avenue Fourth Edition、Summit English Grammar46、Summit English Grammar46 Workbook、トリプルチェック確認問題集、英熟語ターゲット 1000、入門 英文解釈の技術 70

学習目標

<本校の英語科の目標>

- 国際的な感覚と教養を持ち、実践的に英語を活用してコミュニケーションを図ることができる。
- 聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの4技能について、偏りのない総合的な英語力を身につける。
- 語彙力・文法力・構文力に基礎をおき、幅広い英文を理解しそれに対しての自分の意見を表現する。

<第4学年の目標>

- 予習→授業→復習のサイクルを完全に定着させ、高校の学習に対応した学習法を確立させる。
- 大学入試改革を見据え、インプット・アウトプットの両方を重視し4技能の力をバランスよく身につける。
- 多様な文章に触れ、精読力・速読力を鍛えるとともに、日本語・英語で内容を説明できるようにする。(要約含む)
- リテリング、スピーチ、ディベート等を通して、自分の考えを英語で表現できるようにする。
- 英文読解や、アウトプットの活動を通して、科学的思考や現実の問題に取り組む力を身に着ける。(STEAM)

学習方法

- 大学入試改革を見据え、長文読解(精読・速読)、英作文(和文英訳、自由英作文)、リテリング、スピーチ、ディベート、リスニングなど様々な言語活動を通して、4技能をバランスよく伸ばしていくよう意識する。
- 自分が受けた小テスト・週末課題・定期考査・模試の振り返りこそ最高の問題集であることを自覚する。
- 不明点は辞書と文法参考書(Best Avenue)で自ら確認する。
- 既習の文法や語彙についても、「他人に説明できるまで」適宜復習・反復練習を行う。
- 文法学習を軽視せず、「なぜそうなるのか」、常に根拠を追及し論理的に深く考えながら、体系的に学習する。
- 学んだ表現を使って、自分で英文を作る練習を行う。

評価の観点・方法

以下の観点に基づいて評価します。

観点①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。 予習・復習を行い積極的な態度で授業に参加しようとしている。				
観点②表現の能力	既習の文法事項を使いまとまった長さの英作文が書ける。 自分の意見を積極的に発言している。				
観点③理解の能力	英語の情報について正確に聞いたり読んだりできる。 読んだ情報をもとにして問題に正確に取り組むことができる。				
観点④言語や文化に対する知識・理解	語句や文に関する知識を身につけることができる。				
	評価の方法／観点	①	②	③	④
	授業の活動・態度の観察	◎	○		
	ワークシート、ノート提出	◎	○	○	○
	定期考査・小テスト		◎	◎	◎
	スピーチ・リテリング等	◎	◎		

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項
1 学 期	・高校式の学習方法(予習→授業→復習)を定着させる。 ・音の連結・同化等を意識し、英語らしい音声で音読し、舌と耳を鍛える。 ・間違いを恐れず積極的に英語を使おうという姿勢を持つ。 ・学習した文法事項を用いて自己表現できる。 ・自分の身の回りのことについて、まとまった英語で紹介できる。	第4章「助動詞」は昨年度に既習した範囲あり ・Chapter は Summit English Grammar46 の単元を表す ・Best Avenue を目安に、Crown の該当箇所も扱う 第4章 助動詞(Chapter 7～10) 第5章 受動態(Chapter 11～12) 第6章 動名詞(Chapter 13～14) 第7章 不定詞(Chapter 15～16)	
2 学 期	・英語を使って自分の意見を発信することに慣れる。 ・学習した文法事項を用いて自己表現できる。 ・和文英訳の訓練を重ね、自由英作文への基盤を形成する。 ・高校生にとって身近な話題について、自分の考えや意見をまとめた英語で提示する。	第7章 不定詞(Chapter 17～18) 第8、9章 分詞(Chapter 19～21、22 準動詞のまとめ) 第10章 疑問詞 (Chapter 23) 第11、12章 関係詞(Chapter24～27、28 句と節) 第13章 比較(Chapter 29～31) 第14章 仮定法(Chapter32～34)	
3 学 期	・学習した文法や語彙を用いて自己表現できる。 ・「何となく」を脱却し、文法学習や問題演習の際には「なぜそうなるのか」根拠を他者に論理的に説明できる。 ・社会問題などの是非について、自分の意見を英語で簡単にまとめることができる。 ・ディスコースマーカ―の役割、パラグラフの構成を理解し作文やスピーチに応用できる。	第15、16章 話法・否定表現(Chapter35～38) 第17章 名詞構文・無生物主語 (Chapter39) 第18章 強調・倒置 (Chapter40) 第19～23章 名詞・代名詞・形容詞・副詞・冠詞・前置詞 (Chapter41～43) 第24章 接続詞 (Chapter44～46)	

学習のアドバイス

- 予習＝わかる・わからないの仕分け 授業で明らかにすべき内容を決める時間 必ず行う。
- 授業＝上記内容を解決し、復習すべき内容を決める時間 必要な情報はメモを取る。
- 復習＝授業内容を用いた反復練習とアウトプットで知識の定着を図る時間
- 繰り返し声に出して読んだり、手を動かして書いたりすることを丁寧にする。
- 定期考査・模擬試験等で間違えた/わからなかった部分は自分専用の最高の問題集である。必ず解き直しをする。
- 音読を大切にする。目だけでなく、手と口を動かす方が効果が高い。
- 英文をたくさん自分の中に蓄え、その表現を使って英作文することで、英語の力をつける。
- 質問しあえる雰囲気、教え合える仲間を作る。不明点は放置せず仲間や先生に相談・質問する。